

国際幹線道路改善計画【キルギス】

施策所管局課 国別開発協力第二課

評価年月日 令和8年4月

1 案件概要	
(1) 供与国名	キルギス共和国
(2) 案件名	国際幹線道路改善計画
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日、供与条件などを 含む	キルギス南部の主要3都市であるオシュ、バトケン、イスファナを東西に結ぶ国際幹線道路の改修及び首都ビシュケクと第二の都市オシュを南北に結ぶ国際幹線道路における防災対策を行うことにより、道路輸送力及び安全性の向上を図り、もって国内外の物流円滑化と経済成長に寄与するもの。 事業の内容 ・土木工事：オシュ－バトケン－イスファナ（OBI）道路の一部の改修（含橋梁架替等）、ビシュケク－オシュ（B0）道路の防災対策（トンネル新設、落石対策工、地すべり対策工（鋼管工）） ・コンサルティングサービス ア 閣議決定日：平成27年10月23日 イ 供与限度額：119.15億円 ウ 金利：0.1%（コンサルティングサービスについては0.01%） エ 償還（据置）期間：40年（10年） オ 調達条件：日本タイド
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	ア 社会ニーズの現状 本事業の計画当初、内陸に位置する山岳国のキルギスにとって、国内の人・モノの移動及び周辺国との交易を担う経済インフラである幹線道路のうち、特に南部で最も重要な幹線道路である OBI 道路では、旧ソ連からの独立後、十分な補修が行われず劣化が進行していた。また、首都ビシュケクと第二の都市オシュを結ぶ幹線道路である B0 道路では、山間部の土砂崩れなどにより、交通が遮断され、国内輸送や周辺国との交易に支障をきたし、経済活性化の阻害要因となっていた。 現在も、OBI 道路及び B0 道路は同国における国内輸送及び周辺国との交易を支える重要な幹線道路としての位置づ

	けを維持しており、本事業対象地域周辺では新たなバイパス道路の建設が進められるなど、幹線道路網の整備に対する需要は引き続き高いことから、本事業に関する社会的ニーズはある。 イ 事業遅延に関する経緯・現状 先方政府によるコンサルタント調達手続きの遅れ、新型コロナウイルス感染症の影響による本体調達手続きの遅れなどにより、大幅な遅延が発生したが、2025 年 6 月に本体工事が着工しており、2029 年に完工予定。
(2) 今後の対応方針	本件に関する社会的ニーズは引き続きあり、当初予定どおりの効果が見込まれており、事業の進捗を妨げていた要因は解決していることから、引き続き支援を継続する。
3 政策評価を行う過程において使用した資料等	・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 ・ 国際協力機構の案件検索 ・ 国際協力機構の事業事前評価表 ・ その他国際協力機構から提出された資料